

## 地域連携のためのシーズ

氏名（ふりがな）	秋葉 芳江（あきば よしえ）		
所 属	大学院ソーシャル・イノベーション研究科	職名	教授
<b>① ゼミ活動・専門研究の内容</b>			
<p>・ゼミ活動</p> <p>SI 研究科のゼミでは、リサーチペーパー指導を行っており、具体的には、根拠に基づき論理的に自らが実施していく事業・活動に関する提案をまとめるための助言や指導。毎年の担当学生のテーマに応じての対応となるため、院生各人で様々に分野が異なる。（2023 年度：行政組織変革のための研修事業、クリエイティビティのための対話手法開発、経営における利他概念の導入提案、子育てする母親のためのリスキリング研修開発）</p> <p>・専門</p> <p>起業・創業支援、新規事業創出、事業計画、持続可能経営（SDGs、EGS、グリーンイノベーション等）、環境経営、持続可能地域経営。特に、これらの実践知（具体的な方法論を含む）。</p>			
<b>② 自治体や事業者等との連携実績</b>			
<p>・社会人向け起業塾講師</p> <p>地域振興局主催および各自治体主催の社会人向け「起業塾」講師（特に、若者、女性、地域おこし協力隊）。木曾地域、北信地域、北アルプス地域、長野地域および、飯山市、長野県地域振興課。特に木曾地域では開学準備期 2017 年からの関りを礎に、起業塾として 6 年間継続実施中。受講生累計 101 名、卒塾生から多数の起業者を輩出している。GM 学部出版『信州に学ぶソーシャル・イノベーション』第 9 章に詳述。</p> <p>・学部担当講義での連携</p> <p>これまでも各担当講義において、自治体・事業者と連携している。</p> <p><b>キュレーター概論：3 事業者</b></p> <p><b>ソーシャルビジネス・プランニング I / II / III / IV：13 事業者・1 自治体・1 大学</b></p> <p>・事業者等との連携</p> <p>各事業者等の依頼に基づき講演講師、ワークショップ講師等、多数。（例：日本生活協同組合連合会、楽天グループ）</p> <p>・国・自治体等との連携</p> <p>農水省：サステナアワード審査員長、検討会座長</p> <p>長野県・長野市・千曲市、滋賀県、京都市：審議会等委員多数。王滝村プロジェクト支援。ソーシャル・ビジネス、ベンチャーサミット、SDGs 等アワード審査員。</p> <p>——（詳細参考）</p> <p>2027 年国際園芸博覧会政府出展懇談会・委員（2022 年～）</p> <p>農林水産省持続可能な生産消費形態のあり方検討会・座長（2019 年～2020 年）</p> <p>農水省・環境省・消費者庁サステナアワード・審査委員長（2020 年～）</p> <p>農水省「持続可能な食を支える食育の推進」に係る検討ーフードガイドの見直しに向</p>			

けたワーキンググループ・委員（2022年～2023年）  
滋賀県公立大学法人評価委員会・委員（2022年～）  
長野県SDGs推進コンソーシアム・構成員（2018年～2019年）  
長野県みんなで支える森林づくり県民会議・構成員（2019年～）  
長野県契約審議会・委員（2020年～2023年）会長代理（2023年～）  
長野県政府調達苦情検討委員会・委員長代理（2023年～）  
長野県生涯学習審議会・職務代理者（2021年～2023年）  
長野県信州SDGsアワード審査員（2021年～）  
長野県企業局売電等あり方検討有識者会議・構成員（2021年～）  
長野県産業イノベーション推進協議会 長野県産業イノベーション推進本部会議・本部員（2022年～2024年）  
休眠預金活用法における審査会・委員（2020年～）  
長野県屋代高等学校・附属中学校 令和6年度スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員（2024年～）  
長野市商工振興・雇用促進審議会・委員（2019年～）  
千曲市総合計画審議会・委員（2021年）

・CSIとしての連携

2018年4月～2024年3月はCSIとしても多くの連携事業創出・実施を行った。

\* 県外での連携事業も複数あり。

### ③ 今後やってみたい自治体や事業者等との連携内容

・主に学部講義を活用して、県政課題や地域事業者の抱える課題を取りあげた連携を図る。今年度は再生エネルギー課題特に長野県の水素戦略関連、および創業間もない地域事業者の経営課題を取り上げている。来年度は、人口減少トレンドにおけるローカルビジネスのありかた等を検討中。

・大学院修了生のソーシャル・イノベーターとしての地域における実践活動を、大学院・学部学生と連携させたい。

・特に、地域に向けては、実践的なアントレプレナーシップ教育支援、持続可能を下敷きにしたソーシャル・ビジネスやローカルビジネス（身の丈起業）、グリーンビジネスの創業支援、フューチャー・デザインの導入等で貢献が可能です。